

プログラム名	愛知県・名古屋市における建築・住宅関係の主な取組みと施策	認定CPD	2単位
開催日	2024年5月16日(木) 15:00～17:00		
開催場所	(株)伊藤建築設計事務所LECホール(名古屋市中区丸の内1丁目15-15(桜通ビル))		
講師	愛知県建築局 技監 寺本光治氏、名古屋市住宅都市局 営繕部長 大石一成氏		
担当委員会	総務委員会	その他	
参加者	NSK会員・所員 29名 (会場参加)		
備考			

今年は、令和5年度定期総会及び講演会を併催で行いました。参加者は、会場で総数29名での開催となりました。

講演会は、第1部を、愛知県建築局の寺本光治技監を講師に「愛知県における建築・住宅関係の主な取組みについて」と題して、①「令和6年能登半島地震における応急危険度判定活動等」②「県営住宅の整備」③「長寿命化改修工事・営繕工事の動向」④「設計業務委託における総合評価落札方式の導入」⑤「働き方改革及びICT活用の取組み」⑥「愛知県産木材の利用促進」⑦「建築確認審査の対象となる建築物の規模の見直し」⑧「あいちエコフレンドリー住宅ガイドブックについて」⑨「民間住宅省エネ改修事業費補助金について」の各表題について、参照資料等を提示されながら方針を解説して頂きました。

第2部は、名古屋市住宅都市局の大石一成営繕部長を講師に①「名古屋市の能登半島地震の被災地への支援：名古屋市の主な支援、応急仮設住宅建設業務、被災地危険度判定士派遣、今後の住宅都市局の取組」②「名古屋市DX推進とその取組み」と題して、「自治体におけるDXの推進体制の構築・重点取組事項、インフラDX、官庁営繕事業における生産性向上技術の活用方針」③「名古屋市役所・住宅都市局営繕部としての取組」について解説して頂きました。

質疑応答の時間では、図面の電子納品化と図面の保存について、国交省主導のBIMの活用方法と名古屋市等の今後の方針について、DX推進と中小企業での対応のあり方、業務費の更新など各質疑の応答がありました。

私たちの設計活動に重要な内容として参加会員も認識が出来、有意義な講演会となりました。

会員からの質問が有れば事務局へ提示願ひ、講師の方へ提出する事で講演会を終えることとしました。

【会場風景】
愛知県 寺本技監
名古屋市 大石営繕部長



